



足利高等学校 新校校舎新築工事

工事新聞

Vol.5

まる～☆☆



©Tochigi pref. Tochimarukun



↑ これが足利高等学校の壁の下地。軽量鉄骨（LGS）と呼ばれる軽くて丈夫な部材で骨組みをつくって、この間に断熱材を入れたり、表面に石膏ボードで面をついたり、塗装をしたりすればみんなの知ってる壁や天井の出来上がり。

→ この骨組みの間隔は「公共建築工事標準仕様書」※で決められてるよ。この写真の場所だと上下に打込みピンで取り付けしたランナー材に挟み込むようにしてスタッドと呼ばれる部材を450mm程度の間隔でたてて並べるの。壁の高さによってスタッドのサイズも変わるから、施工計画の段階で部材の確認もするんだよ。



杭

鉄筋

型枠

コン

金属

建具

ガラス

木

屋根

塗装

防水

内装

